平成 25 年 11 月 18 日 資 料 提 供

近畿中国森林管理局

担 当:技術普及課 池田、渡部

連絡先:大阪市北区天満橋1丁目8番75号

IP 電話: 050-3160-6754

### 平成25年度 森林・林業交流研究発表会の開催について

近畿中国森林管理局では、公益的機能の高度発揮のための森林施業、民有林経営への 支援となる林業技術や手法の確立、森林環境教育の推進、民有林・国有林が連携した森 林・林業の再生に向けた取組や業務を通して得た創意工夫の成果の普及・定着を図るた め、「平成25年度 森林・林業交流研究発表会」を下記のとおり開催します。

記

- 1 日程
  - 平成25年12月12日(木)、13日(金)の2日間
- 2 会場

近畿中国森林管理局 大会議室 大阪市北区天満橋 1 丁目 8 番 75 号(大阪環状線「桜ノ宮駅」下車徒歩 5 分)

3 発表プログラム 別添、プログラム(案)のとおり。

## 平成25年度 森林・林業交流研究発表会開催要領

#### 1 目 的

公益的機能の高度発揮のための森林施業、民有林経営への支援となる林業技術や手法の確立、森林環境教育の推進、民有林・国有林が連携した森林・林業の再生に向けた取組や業務を通して得た創意工夫の成果の普及・定着を図る。

また、幅広い関係者等からの発表会への参加を通して、相互の研鑽、交流、連携を深める。

併せて、研究課題への取組を通して、人材育成に資する。

#### 2 内容

公益的機能の高度発揮のための森林施業、低コスト化等を目指した林業技術や手法、安全衛生意識の高揚、効果的な森林管理、国民参加の森林づくり、民有林・NPO等と連携した取組や森林環境教育の取組、国民視点に立った業務の創意工夫に関するもの。また、業務における調査・実証による成果やそれらの普及・定着に関するもの。

#### 3 参加資格

- (1) 近畿中国森林管理局の職員
- (2) 近畿中国森林管理局管内の府県及び市町村の職員
- (3) 近畿中国森林管理局管内の森林・林業関係団体等の職員
- (4) 近畿中国森林管理局管内の教育機関の生徒・教職員等
- (5) 上記(1)~(4)と共同で研究する者

#### 4 日程及び会場

- (1) 日 程 平成25年12月12日(木)、13日(金) の2日間
- (2) 会 場 近畿中国森林管理局 大会議室 大阪市北区天満橋1-8-75(大阪環状線「桜ノ宮駅」下車徒歩5分)
- (3) 発表時間 1課題につき発表12分、質疑応答3分の計15分。

#### 5 優秀発表者の表彰

発表内容について審査を行い、優秀な発表者を表彰する。

平成 2 5 年度森林·林業交流研究発表会 審査委員

役 職	所属機関	役 職	氏 名
委員長	(独) 森林総合研究所 関西支所	支 所 長	吉永 秀一郎
委員	京都大学大学院農学研究科森林科学 専攻 森林·人間関係学分野	准教授	松下 幸司
IJ	(独)森林総合研究所 林木育種センター 関西育種場	場長	今井 啓二
IJ	兵庫県立農林水産技術総合センター 森林林業技術センター	所 長	松本 聡
IJ	福井県総合グリーンセンター	林業試験部長	三浦 由洋
IJ	近畿中国森林管理局	計画保全部長	飯田 喜章
IJ	IJ	森林整備部長	中西 誠

## 表彰

表彰名				
近畿中国森林管理局長賞				
(独)森林総合研究所 関西支所長賞	1 点			
(独)森林総合研究所 林木育種センター 関西育種場長賞	1 点			
(一社) 日本森林技術協会理事長賞				
(一財) 日本森林林業振興会会長賞	1点			
森林·林業交流研究発表会審査委員長賞 (特別賞)	必要ある 場合			

# 12月12日(木) 平成25年度 森林・林業交流研究発表会発表会 プログラム(案)

発表順	開始	終了	発表課題等	所 属	発表者		
順		13:10	開会式				
1	13:15	13:30	森林公共政策への挑戦	京都府立林業大学校 森林林業科	〇内藤 利幸 井上 貴文		
2	13:32	13:47	端材からの発見 ~捨てられる木の利用で環境を守る~	京都府立北桑田高等学校 森林リサーチ科	○武田 悠作 平野 由里 山田 蓮 吉田 みなみ		
3	13:49	14:04	風倒木を利用したエコ温水ボイラーの作成	兵庫県立山崎高等学校 森林環境科学科	○藤本 駿佑 ○唐本 駒淳大 一海川本 一 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年 一年		
4	14:06	14:21	高野山で、国有林のできること ~新たな地域連携を目指して~	和歌山森林管理署	〇中田 茂巳 下ノ上 文和		
5	14:23	14:38	フォレスター活動の推進において期待される フィールド(国有林)の役割について	近畿中国森林管理局 森林技術・支援センター	藤原 昭博		
6	14:40	14:55	雪害抵抗性スギ品種「出羽の雪」と福井産スギの比較検討について -10年目の経過報告-	(独)森林総研森林農地整備センター近畿 北陸整備局 福井水源林整備事務所	砂場 淳一原 敏浩		
	14:55	15:10	休 憩	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			
7	15:10	15:25	高密度に天然下種更新した海岸クロマツ林の密度管理(I) 一除伐方法と地掻きの効果-	石川県農林総合研究センター 林業試験場	八神 徳彦		
8	15:27	15:42	高密度に天然下種更新した海岸クロマツ林の密度管理(Ⅱ) - 重機を用いた低コストな本数調整-	石川森林管理署	甲斐 晴久		
9	15:44	15:59	平成23年9月紀伊半島大水害の被害状況と復旧への取り組み	奈良森林管理事務所	〇西岡 朋典 川勝 祥永		
10	16:01	16:16	北潟国有林海岸防災林造成事業による突堤工の施工について	福井森林管理署	○清瀨 秀逸 南村 昌隆		
11	16:18	16:33	林道等の鉄鋼スラグを活用した路盤改良 一路盤の安定と維持管理コストの削減一	広島森林管理署	<ul><li>○井 誠喜</li><li>○元吉 祐作</li><li>本谷 駿介</li></ul>		
				・兵庫県姫路市産業局	○大東 聡		
12	16:35	16:50	姫路市における循環型林業の推進について 〜地形地質情報図を利用した壊れにくい作業道づくり〜	・アジア航測株式会社	谷口 享史 今村 遼平 栩野 博		
	16:52		育成複層林施業技術の開発 ー複層林施業における施業指標林の設定-	近畿中国森林管理局 森林技術・支援センター	池田 則男 矢野 宣和		
	]13⊧			T	I		
発表順	開始	終了	課 題	所属	発表者		
14	9:00	9:15	鍛冶屋又国有林における下刈コスト低減への取組み -3成長期までの経過と結果-	・三重森林管理署 ・三重県林業研究所	<ul><li>○早瀬 亙</li><li>島田 博国</li><li>奥田 清貴</li></ul>		
15	9:17	9:32	低コスト林業に即した「兵庫県の森林施業体系」の見直しに向けて	兵庫県西播磨県民局 光都農林水産振興事務所	有元 正彦		
16	9:34	9:49	低コスト林業への取り組みについて - 伐採・搬出・植栽を一体化した事業発注を実施して-	広島北部森林管理署	〇弘兼 光秀 西田 一紀		
17	9:51	10:06	トータルコスト縮減に向けた伐採・造林の一体的取組	兵庫森林管理署	○藤木 俊行 北垣 寛武		
18	10:08		多雪地帯における植生保護管を用いたシカ食害対策	福井森林管理署	○高倉 亮 橋本 紅美子		
-	10:23	10:33	休 憩	Г			
19	10:33	10:48	シカの動態に対応した、防護柵の最適な設置方法の考察	京都大阪森林管理事務所	遠藤 歩		
20	10:50	11:05	伯母子国有林におけるニホンジカの被害の現状	<ul><li>・奈良県森林技術センター</li><li>・奈良森林管理事務所</li></ul>	○若山 学 田中 正臣 大本 幹雄		
21	11:07	11:22	民国連携による地域一体となった鳥獣害対策活動について ー若桜町におけるシカ捕獲と資源活用の取組-	・鳥取県若桜町 ・鳥取森林管理署	山本 伸一 大石 政弘		
22	11:24	11:39	大杉谷国有林におけるニホンジカによる森林被害対策指針の紹介	近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター	中島 正彦		
特別 発表	11:41	11:59	シカの行動を制御して効率よく捕獲する	(独)森林総研関西支所	八代田 千鶴		
	11:59	13:00	昼食休憩				
特別 発表	13:00	13:18	兵庫県におけるニホンジカによる下層植生被害の現状と対策	兵庫県森林動物研究センター	中谷 康彦		
特別 発表	13:20	13:38	福井県におけるニホンジカによる 森林被害の現状と被害防止対策の検討	福井県総合グリーンセンター	酒田 真澄美		
特別 発表		13:58	関西育種場におけるマツ材線虫病対策の取組みについて	(独)森林総研林木育種センター 関西育種場	磯田 圭哉		
		14:10 14:30					